国道43号 これまでの大型車交通量削減の取り組み(事例)

- ・5号湾岸線への迂回を促すため、国道43号等において道路情報板や横断幕での案内を 実施。
- ・関係機関との連携を図り、交通需要軽減キャンペーンなどの各種広報活動を展開。

■道路情報板、横断幕での案内

道路情報板による案内パージ 拡充

国道 1号:6箇所 国道 2号:4箇所 国道 25号:5箇所 国道 26号: 9箇所 国道 43号:5箇所

> 国道163号:4箇所 国道165号:1箇所 国道171号:4箇所

国道176号:1箇所

大阪府内の直 轄国道におい ては、合計39 箇所で表示

■交通需要軽減キャンペーン(関係機関との連携)

・国道43号・阪神高速3号神戸線の大気環境改善に向けて、阪神高速5号 湾岸線等へ迂回を促す啓発活動を国、阪神高速、警察と連携し展開。







■沿道大気質情報の提供

・5号湾岸線への迂回促進のため、NO2濃度が高くなった場合に、道路情報 板、ホームページおよびメール配信により、5号湾岸線への迂回協力要請 を実施。



今日は、NO2濃度が 高くなっているので、 湾岸線ルートで行っ てもらおう





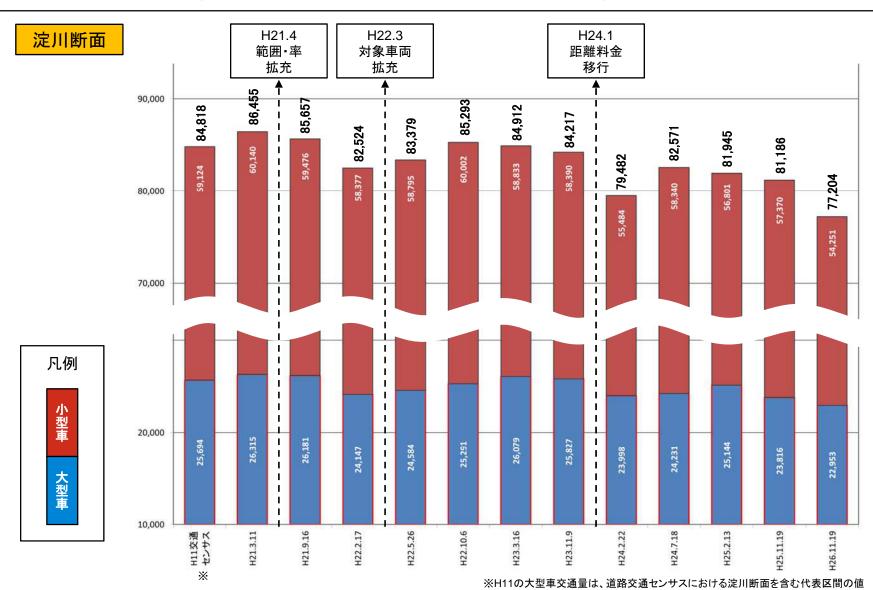
大気情報メール配信

今日は、

湾岸線を

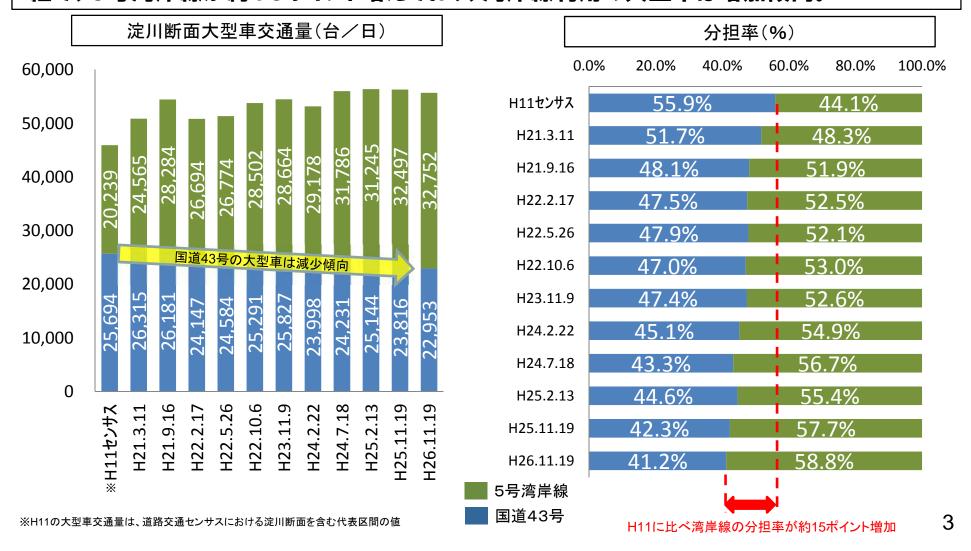
国道43号 大型車交通量の推移

- ・国道43号の大型車交通量は、概ね25,000台/日前後を推移。
- ・平成25年には24,000台/日を下回り、平成26年は約23,000台/日と近年減少傾向。



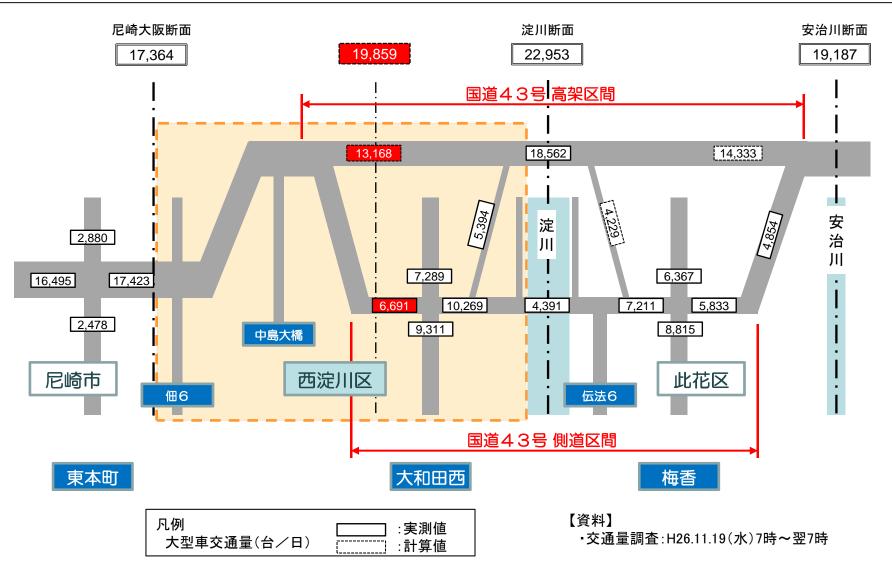
淀川断面のセンサス大型車道路利用状況

- ・淀川断面における大型車交通量は増加しているものの、各種取り組みにより国道43号の 大型車は減少傾向。
- ・大型車両分担率は、H13.11の環境ロードプライシング開始以降、範囲や車種の拡充を経て、5号湾岸線が約15ポイント増えており、湾岸線利用の大型車は増加傾向。



国道43号における大型車交通量(平成26年度調査結果)

・国道43号西淀川区域において、約7割の大型車は国道43号高架区間を走行。(大和 田西交差点西側断面)



国道43号(西淀川区域)の利用実態を踏まえた対策方針

- 西淀川区を通過する大型車交通
 - →大型車削減のため、5号湾岸線へ誘導を促す。
- ・地域関連の大型車交通
 - →沿道環境改善のため、エコドライブの普及・啓発を促進。



国道43号(現地)における広報イメージ

○西淀川区域を通過する交通に向けた広報

『阪神高速5号湾岸線への迂回促進』



横断幕



阪神高速湾岸線へのアクセス道路の前に設置する 国道43号の交差道路からの流入車(東側)に向けてPRする

○西淀川区域の地域関連交通に向けた広報

『エコドライブの普及・啓発』

沿道環境改善のために

ふんわりアクセルでゆっくり発進



横断幕

【設置箇所】

交差点の信号待ち車両に向けてPRする 国道43号の交差道路からの流入車(西側)に向けてPRする



設置箇所毎に、 誘導する入口名 を変更

立て看板



横断幕設置候補箇所

横断歩道橋に設置を検討(既に湾岸線への迂回横断幕が設置されている個所を除く) 高欄・擁壁に設置を検討

(国道43号の交差道路から右左折して国道43号を走行する大型車に対し設置)





高欄への設置イメージ



擁壁への設置イメージ



横断歩道橋への設置イメージ

立て看板設置候補箇所

中央分離帯・植栽帯に設置を検討 (視認性向上のため、複数本連続で設置する)



『阪神高速5号湾岸線への迂回促進』

新たに設置を検討する箇所

·中央分離帯 3箇所

・植栽帯 1箇所 計4箇所

『エコドライブの普及・啓発』

🧼 新たに設置を検討する箇所

·中央分離帯 1箇所

·植栽帯 3箇所 計4箇所

凡例

国道43号

湾岸線アクセス

■ 阪神高速湾岸線



中央分離帯への設置イメージ



植栽帯への設置イメージ



中央分離帯への設置イメージ